

①訃報 平成 25 年 12 月 8 日以降に判明した方々 謹んでご冥福をお祈り致します。

13 理甲	石井 寿雄	平成 26 年 1 月 3 日	堺市西区
14 理甲	中村 宏	平成 25 年 3 月 10 日	神戸市須磨区
16 文 1	笹岡勲太郎	平成 26 年 1 月 29 日	京都市左京区
18 理甲 3	六島 克	平成 26 年 1 月 18 日	富田林市
21 理 4	小松 博泰	平成 25 年 2 月 18 日	吹田市
22 理 2	永井 一郎	平成 26 年 1 月 27 日	東京都世田谷区
22 理 4	今井 昭	平成 25 年 4 月 1 日	西宮市

②住居変更

22 理 1 田中 武 〒658-0051 神戸市東灘区住吉本町 2-10 18-106 号
電話 078-821-3672 (変更なし)

③午餐会・懇話会

*第 508 回午餐会 25 年 12 月 7 日 (土) 正午～14 時 30 分

於 中央電気倶楽部 317 号室

講師 大平 哲也 氏 福島県立医科大学医学部疫学講座 主任教授

同上 放射線医学県民健康管理センター 疫学部門 部門長

大阪大学大学院医学研究科公衆衛生学 招聘教授

日本笑い学会 理事

テーマ 「笑って心と身体を健やかに

～何歳からでも笑いで人生を変えることが出来るお話～

出席者 3 理甲遺津賀美智子・同友人 平松義子・15 理甲三木卓一・理乙前田哲郎

17 文 1 佐伯秀穂・文 2 螺良英郎・理甲 1 柴野正之・理甲 2 松山敏彦・18 文 2 青木峰男

18 理甲 1 遺新家和己・理甲 2 宇津敏勝・理甲 4 高岸宗吾・理乙橋田進

19 理甲 3 三浦昭二郎・20 文乙池口金太郎・理 2 鶴岡誠・同友人江川兵次郎・同前川徹

21 文甲 1 穎川勉二・真銅孝三・文乙村田正孝・理 1 山田茂樹・理 2 島隆夫・武田晃世

21 理 2 前田泰敬・理 3 後藤業明・理 4 川島康生・新家莊平・西村順三

22 文甲 2 井本憲伺・理 1 長澤弘一郎・理 2 松浦實・三島佑一・理 3 井上達明・芳賀洋

22 理 4 大路清嗣・事務局 阪田訓子

以上 36 名

*第 509 回午餐会 26 年 1 月 8 日 (水) 正午～14 時 30 分

於 中央電気倶楽部 317 号室

講師 旭堂 南陵 氏 講師 大阪芸術大学客員教授、学術博士

テーマ 「日本の話芸史・・・講談と落語を中心に」

出席者 3 理甲遺津賀美智子・同友人 平松義子・6 文甲遺岩根正尚・15 理甲三木卓一

16 文 2 山村好弘・17 文 1 佐伯秀穂・文 2 螺良英郎・理甲 1 柴野正之・理甲 2 松山敏彦

18 理甲 1 遺新家和己・理甲 2 宇津敏勝・理乙橋田進・19 理甲 1 津田泰男

20 文乙池口金太郎・城野伊一郎・20 理 2 鶴岡誠・同友人江川兵次郎・理 2 橋本一成・

同芳子・21 文甲 1 穎川勉二・真銅孝三・文乙村田正孝・理 1 小谷剛造・理 2 島隆夫

21 理 2 武田晃世・前田泰敬・理 3 後藤業明・理 4 川島康生・中原充雄・西村順三

22 文甲 2 井本憲伺・理 1 長澤弘一郎・理 2 松浦實・三島佑一・理 3 井上達明

22 理 4 大路清嗣・事務局 阪田訓子

以上 37 名

*文楽初春公演 26 年 1 月 17 日 (金) 第 1 部 11 時～ 第 2 部 16 時～ 於 国立文楽劇場

第 1 部 二人禿・源平布引滝・傾城恋飛脚

参加者 17 理甲 2 山本昭夫・同靖子・18 理甲 2 宇津敏勝・同泰子・18 理甲 3 遺浅井清子

18 理甲 4 高岸宗吾・同悦子・19 理甲 3 三浦昭二郎・20 理 2 鶴岡誠・同千代子

21 文甲 1 穎川勉二・同章子・遺小原美子・文甲 2 渡辺節・妹内海貞・理 2 武田晃世

元事務局田所智恵・事務局阪田訓子

以上 18 名

第 2 部 面売り・近頃河原の達引・壇浦兜軍記

参加者 6 文甲遺岩根正尚・同多美子・21 文乙村田正孝・同貞子

以上 4 名

④各地寮歌祭

*第一回伊勢寮歌祭 25 年 12 月 15 日 (日) 於 皇學館大学倉陵会館

参加者 19 理甲 1 津田泰男・21 文甲 2 渡辺祐吉・同節

以上 3 名

⑤支部だより

* 関東浪高会 平成 26 年 1 月新年交歓会 26 年 1 月 10 日 (金) 正午～ 15 時

於 新橋 かに道楽

出席者 14 名 (前年 16 名)

12 文乙平井勉郎・理乙出羽蛟・15 理乙岸保芳郎・16 理 1 清岡繁夫・18 文 2 田路俊郎

19 文甲 2 高間宏治・理甲 2 武田聰光・20 文乙阪本亮二・21 文甲 2 田中昂・中川種寿

22 文甲 1 近久達夫・前田昭・理 3 立石宗一・理 4 大杉欣一郎

冒頭、出席者の最年長・12 文乙の平井先輩の発声により一同乾杯し、平成 26 年の新年を寿いだ。暫く、懇談の後、昨今問題となっている、安倍首相の靖国神社参拝について発言をお願いした処、夫々から意見の開陳があり、結果としては、反対が賛成を大幅に上回った。今後の対中・韓の関係が懸念される処である。

* 阪南支部二木会 於 堺東 Continuer (フランス料理)

第 352 回 25 年 11 月 14 日 (木) 13 時～

出席者 18 理甲 4 高岸宗吾・20 理 1 大塚穎三・理 2 鶴岡誠

21 理 2 武田晃世・6 文甲遺岩根正尚

第 353 回 25 年 12 月 26 日 (木) 13 時～ 出席者 同 上

第 354 回 26 年 1 月 9 日 (木) 13 時～

出席者 20 理 1 大塚穎三・20 理 2 鶴岡誠・21 理 2 武田晃世

⑥同期同級交歓

* 2 1 会 (21 回同期会) 第 92 回三木会 25 年 12 月 19 日 (木) 正午～ 14 時 30 分

於 大阪第一ホテル 6 F ランスロット

話題提供 理 2 前田 泰敬 元近畿日本鉄道

テーマ 「我が国 鉄道史からみた雑感」

出席者 文甲 1 額川勉二・坂本節也・真銅孝三・文甲 2 茅野健・田中昂 (東京)

文甲 2 露口佳彦・文乙富田三郎・村田正孝・理 1 小谷剛造・山田茂樹・山本稔

理 2 島隆夫・武田晃世・前田泰敬・理 3 後藤業明・竹原登・理 4 川島康生・新家莊平

理 4 中原充雄・西村順三・受付阪田訓子 以上 21 名

◇上記に先立ち 10 時 45 分より世話人会を開催。25 年度収支決算報告を承認。26 年度旅行会につき東京の田中氏より JTB に相談した素案の説明があった。大阪組の窓口は、今後西村氏が担当し、26 年 3 月 27 日の三木会で具体案を討議・決定することとなった。

* 21 回理 4 (リヨン会) 25 年 12 月 14 日 (土) 正午～ 於 宝塚「若水」

出席者 浅田幸男・稲荷眞名・川島康生・岸本明・桜井倬治・新家莊平・中原充雄

西村順三・鷺島滋夫 以上 9 名

25 年 2 月 18 日に逝去した小松博康君の冥福を祈って黙祷した後、忘年会を行い、桜井君より平均寿命の話があった。

⑦運動部・同好会だより

* 第 58 回浪高ゴルフ会

台風 27 号接近で延期した浪高ゴルフ会は 25 年 11 月 19 日 (火) 宝浪会 (21 回生のゴルフ会)

と共催で、芦屋カントリークラブで東京から参加の大杉氏を加え 9 名でスタートした。

晴天ながら時折寒風に見舞われ、2 名がリタイア、7 名が完走した。

参加者 19 文甲 2 米原宣夫・21 文甲 1 額川勉二・21 文乙富田三郎・21 理 1 小谷剛造

21 理 1 佐藤 優・21 理 2 丹波元吉・21 理 3 後藤業明・21 理 4 川島康生

22 理 4 大杉欣一郎 以上 9 名

第 55 回に続き川島氏が優勝。2 位は丹波氏、3 位は小谷氏、B B は福山から参加の佐

藤氏。因みにベストグロスは丹波・小谷両氏の 98、N P は小谷・富田両氏であった。

きつい風のためスコアは振るわなかった。

次回は 5 月 15 日 (木) 大宝塚ゴルフクラブで開催の予定。

* 剣友会 25 年度年末例会 25 年 12 月 11 日 (水) 12 時～ 於 日本綿業会館

次第 1 ごあいさつ 2 逝去者追悼黙祷

3 講話「産業用ロボットについて」22 理 3 芳賀 洋

4 乾杯 ビール、日本酒、ボジョレー・ヌーボー

5 会食 フランス料理 (北浜清友会館調理)

6 剣友会の運営について

出席者 6 名

14 文乙出原孝夫 (横浜市)・16 理 2 上西洋二 (西宮市)・17 理甲 1 栗野正之 (箕面市)

17 理甲 2 松山敏彦 (伊丹市)・18 理甲 1 矢島治明 (豊中市)・22 理甲 3 芳賀洋 (豊中市)

⑧本部運営委員会 26年2月3日(月) 12時～14時

於 ヒルトンプラザイースト 4F カフェ ド グレース

出席者 会長 川島康生 副会長 鶴岡誠(監事兼務) 副会長 真銅孝三

監事 城野伊一郎 事務局 武田晃世・松浦實・阪田訓子 以上 7名

(1) 25年度決算監査

事務局より提出した25年度収支決算案につき説明があり、原案通り承認された。

(2) 午餐会が3月にフェアウエルパーティを開催することとなり、その式次第を検討。

(3) 4月以降の運営方針を協議し、当面大食堂で自由参加方式で継続することとした。

(4) 「待陵通信」は年内発行を続けることとする。

⑨寄付金 25年11月21日 20理1 海堀寅一氏より金100万円のご寄付を頂きました。多謝。

追 慕

永井 一郎 君(22理2) を悼む

22文乙 亀田 一彦

去る1月27日 永井一郎君が急逝されました。同君の功績については、今さら申すまでもありませんが、永井君は浪高同窓生との交遊を非常に大切にしていました。

忘年会の幹事が永井君に回って来た時、折悪しく、それまでの会場が閉店した為、いろいろ奔走して新会場を見つけてくれました。又、この忘年会を「何のわだかまりもなく話せる会」として十数年にわたり皆勤でした。

永井君は演技者、技術者を問わず、次の世代の育成に努めていました。

2月3日、青山葬儀場は溢れた参列者の8割が20歳台と見られる若人で、その又6割が女性という、寂寥感が余り感じられない葬儀でした。

又、日本放送協会、フジテレビを始めとする大手制作会社、高橋英樹、ビートたけし氏を始め男女有名俳優が供花に名を列ね、出棺の後もファンの献花が続く盛儀であったのも永井君の誠実な人柄を物語るものでした。

ご冥福をお祈り致します。



叫々池の映る旧浪高本館(現大阪大学会館)

平成26年1月 20理2 鶴岡 誠撮影